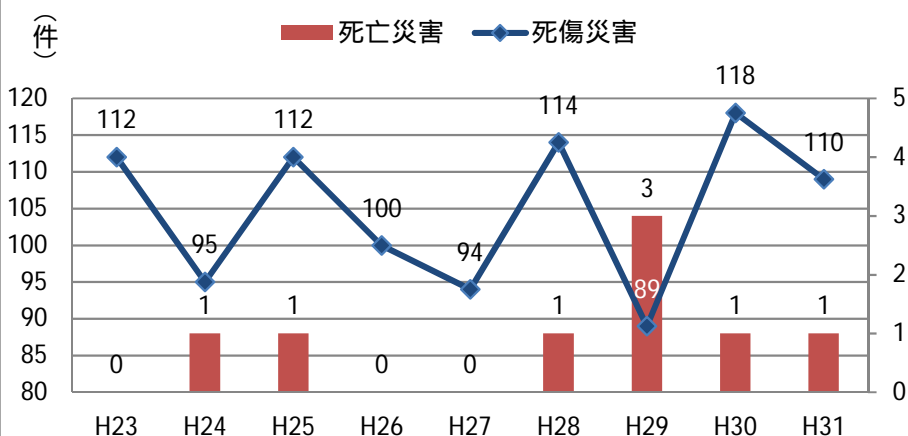


藤岡労働基準監督署管内における労働災害発生状況(平成23～31年)

(資料出所:労働者死傷病報告)

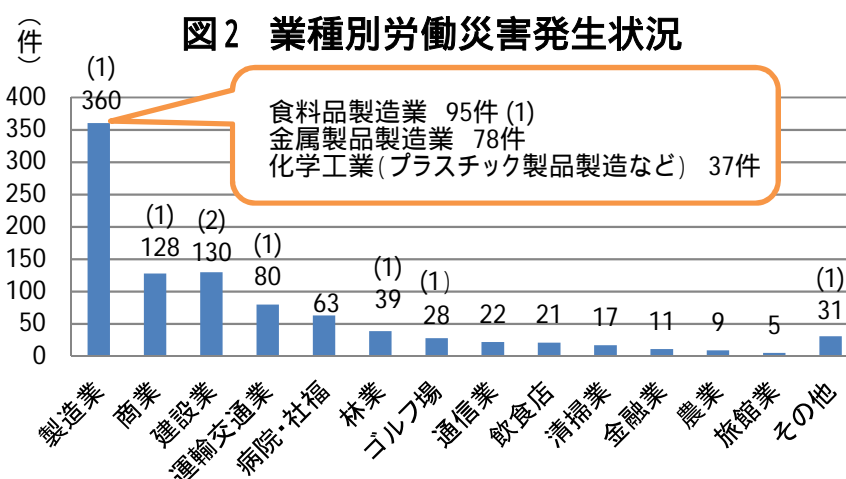
藤岡労働基準監督署

図1 労働災害発生件数の推移



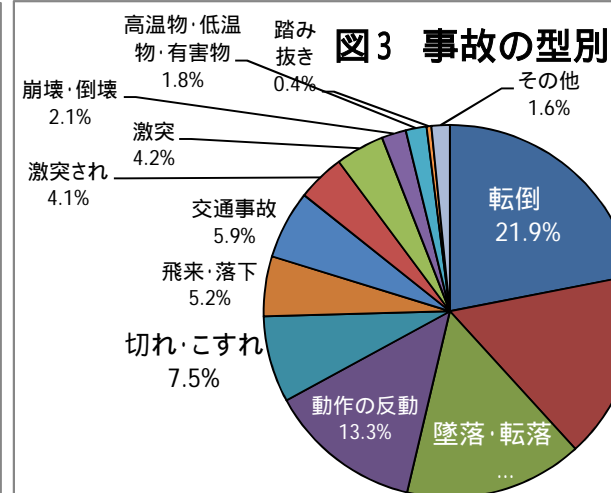
STOP! 労働災害「災害ゼロ・危険ゼロ」の職場を!

図2 業種別労働災害発生状況



()内は死亡災害の件数

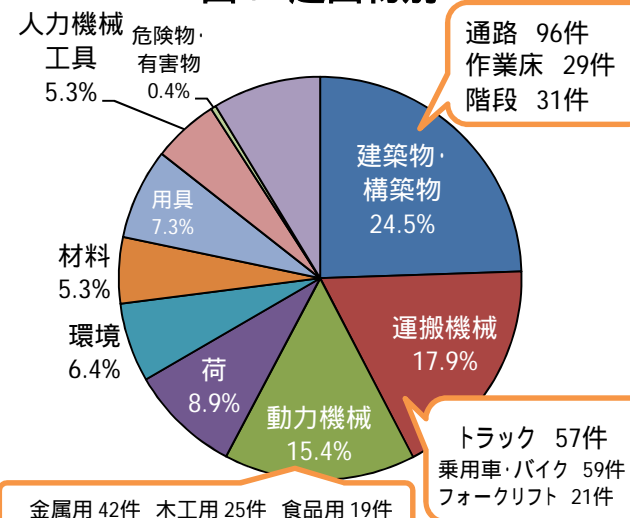
図3 事故の型別



では、4Sを徹底するとともに、転倒危険箇所には、注意喚起のステッカーなどを貼りましょう。

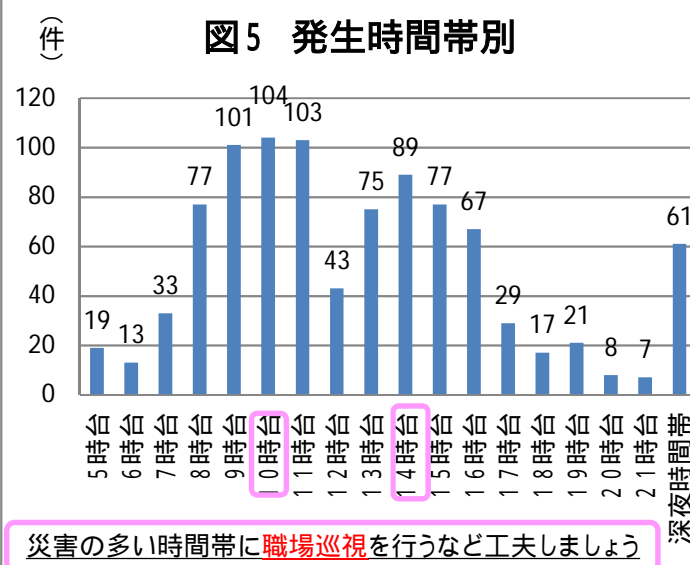
では、機械の危険な箇所には、覆いや囲い等を確実に設けましょう。
では、高所の作業床の端には、周囲に手すりや柵などを設けましょう

図4 起因物別



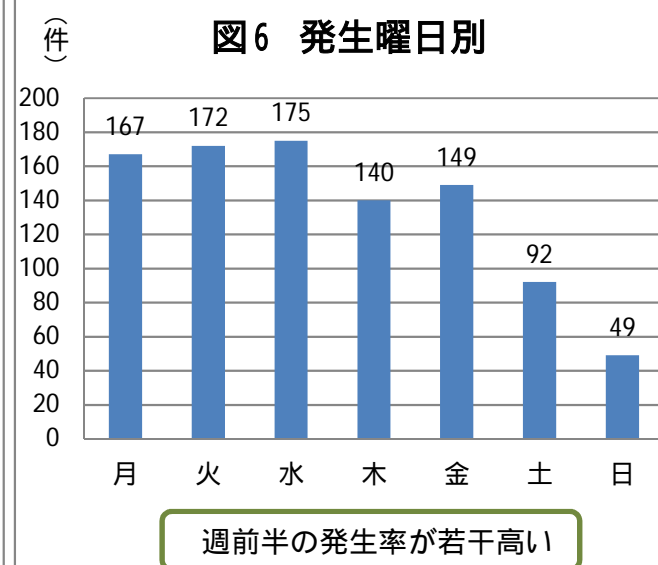
通路 96件
作業床 29件
階段 31件
トラック 57件
乗用車・バイク 59件
フォークリフト 21件
金属用 42件 木工用 25件 食品用 19件

図5 発生時間帯別



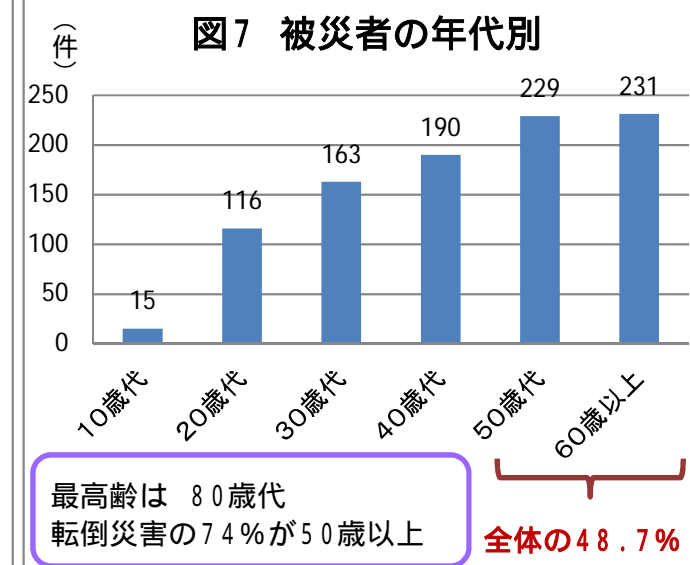
災害の多い時間帯に**職場巡視**を行うなど工夫しましょう

図6 発生曜日別



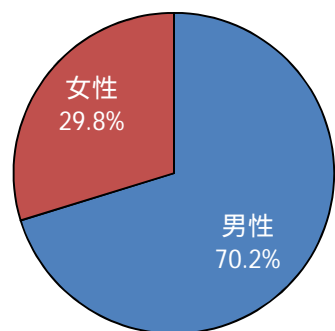
週前半の発生率が若干高い

図7 被災者の年代別



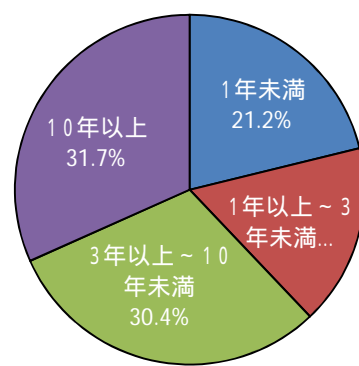
最高齢は 80歳代
転倒災害の74%が50歳以上
全体の48.7%

図8 被災者の性別



男性は「はさまれ・巻き込まれ」災害、「墜落、転落」災害の比率が高い

図9 被災者の経験年数別



経験年数3年未満の労働者による割合が1/3超雇入れ時等に**安全衛生教育**を確実に守りましょう

図10 傷病性質別

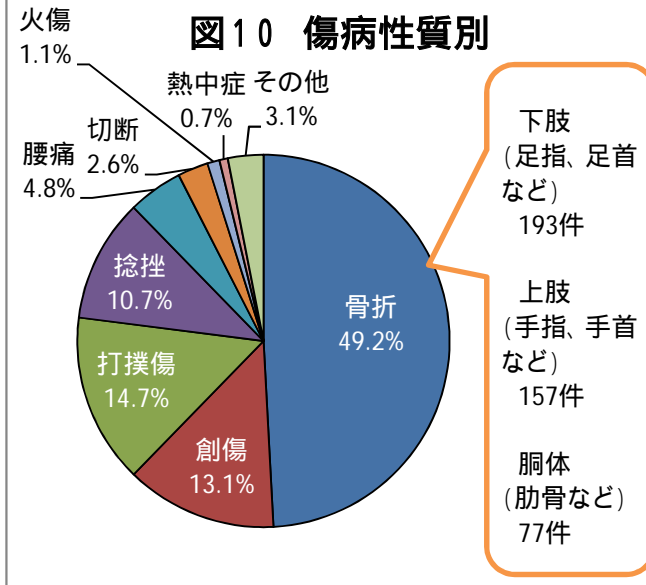
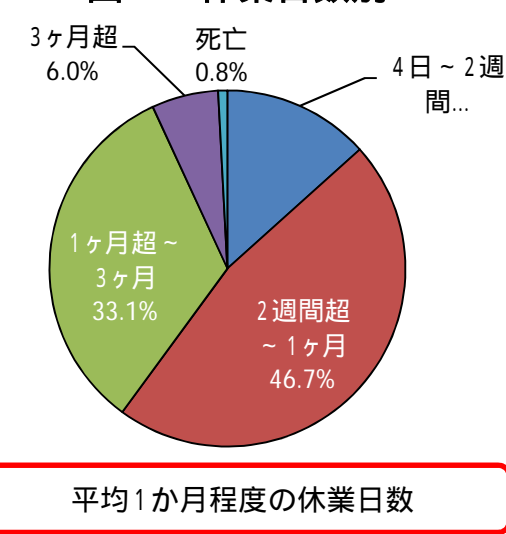


図11 休業日数別



平均1か月程度の休業日数